

C1 奥出雲エクスカージョン その1

10月5日(金) ■参加費5,500円(申込必要)
<10:30~18:30>

●JR出雲市駅→雲南市→荒神谷→出雲大社→大田市内着

C2 奥出雲エクスカージョン その2

10月8日(月) ■参加費5,500円(申込必要)
<8:00~16:00>

●大田市内発→雲南市→荒神谷→出雲大社→JR出雲市駅着

「もののけ姫」と「出雲神話」の舞台 ●ガイド:高倉正明(島根ふるさと案内人)

アニメ「もののけ姫」の舞台、奥出雲の森が育んだ和銅「たたら製鉄」と出雲神話の舞台を御案内します。

松江市から広島県寄りに1時間少々にある鉄の歴史村雲南市吉田町「管谷たたら山内」から銅剣の出土日本一を誇る斐川町「荒神谷遺跡」出雲大社町「古代出雲歴史博物館」「出雲大社」まで、日本のふるさと島根県の出雲地方を御案内します。

※C3,C4は、参加申込不要、当日参加も歓迎です。ブースごとにそれぞれ開催時間が異なります。当日会場配布の案内でお確かめください。

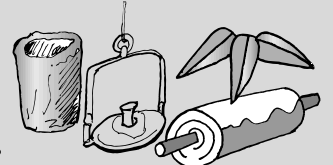
C3 体験コーナー

子どもたちも歓迎!(参加無料)

10月6日(土) <11:00~18:00>
◆三瓶ダム公園 テントにて開催

10月7日(日) <11:00~14:00>
◆三瓶ダム公園 テントにて開催

- 「銀精錬 灰吹法」 大田市石見銀山課 高純度の銀を精錬した古代のハイテクを再現
- 「七厘鍛冶屋の五寸釘ナイフづくり」 関根秀樹 七厘と炭で野鍛冶の再現
- 「竹の民俗楽器で遊ぶ」 アジアの竹の打楽器と笛、古代笛の合奏
- 「竹の工作」和田孝夫(風工房) 自然素材を観察するといきものの顔が見えてくる。竹で蛙をつろう。
- 「焚火でバームクーヘン」国際ワークキャンプ有志 力を合わせて焚き火でバームクーヘンづくり。試食あり。
- 「水と緑の森づくり税の成果」島根県林業課 2005年から始まった島根県水と緑の森づくり税によるとりくみ成果をPR展示



C4

屋台村

大田の山の幸、海の幸を味わおう!

10月6日(土) <11:00~22:00>
◆三瓶ダム公園 テントにて開催

10月7日(日) <11:00~14:00>
◆三瓶ダム公園 テントにて開催

- 「大田の郷土食」JA石見銀山婦人部 大田地方の秋祭りに欠かせない箱寿司はじめ、地元食材のお弁当・お土産品など
- 「三瓶そば」三瓶山麓は蕎麦のふるさと 地元には蕎麦打ち名人がたくさんいます。
- 「海の幸炭火焼き」大田の海で取れた特選干物を炭火焼きセルフサービスで召し上げ
- 「自然放牧牛ジェラート、牛乳、乳製品」シックス・プロデュース(邑南町)
- 「焚火でピザ」 国際ワークキャンプ有志 できたてのあつあつピザをどうぞ。ドラム缶窯で焼き上げます。「丁銀ピザ」も初登場
- 「世界の料理」国際ワークキャンプ有志 大会運営を支援する国際ワークキャンプで日本を訪れた学生たちが郷土料理を披露
- 「飲物コーナー」ジュース、缶ビールなど販売。お茶は無料サービスもあります。
- 「かずらふくろう」風工房 藤づるを使った愛らしいフクロウの工芸作品など



「石見銀山 世界遺産を守る森づくり」

第15回全国雑木林会議 石見銀山大会 実行委員会
委員長 高橋 泰子

世界史に影響を及ぼした産業遺跡として注目を浴びる石見銀山。森林に包まれて環境と共生しながら中世の鉱山遺跡が残された点がユニークであると、ユネスコから高く評価されました。

世界遺産登録されてから、この小さな街には全国からたくさんの観光客が訪れるようになりました。彼らのほとんどは大森の伝統的町並みの雰囲気味わって、唯一公開されている間歩を見て帰っていきます。多くの遺跡群が存在する山の中に入る人はまれです。

山ひだの各所には、今も手つかずの宝が眠っています。銀鉱石ではありません。ナマの遺構である間歩(坑道)、廃寺や住居址の石垣石段、街道が数万人の暮らしの痕跡として無造作に形を留めています。ところがそのまま自然に任せておけば、山はより一層濃い「緑」に覆われていきます。多くの山に広がった竹ヤブが視界をさえぎり地下茎が石垣や遺構を侵食しはじめました。

銀生産に必要な薪炭や坑木は、地域の山林を持続的に利用しながら供給されたものです。里山管理の技術が「緑のタイムカプセル」を機能させてきました。世界遺産を後世に伝えるため、今日の技術で応えるには、森林景観の整備復元のみならず、バイオマスエネルギーの地域循環利用を含めた森林システム全体のデザインを考える必要があるでしょう。

地元における遺跡保全の継続的取り組みは世界遺産登録の要件です。歴史的建造物や町並みの保全活動の機運に比べると、鉱山遺跡を含む森林ゾーンの保全計画は立ち遅れています。長い間農林業鉱業の産業基盤を支えてきた里山の価値を学び、遺跡を含む文化景観として再評価しましょう。そして、もういちど往時のように山に入り、資源を利用しつつ景観を守る市民参加の森づくり活動を進めましょう。全国雑木林会議石見銀山大会をその契機にしたいと思います。

<参加申込方法>

別紙「参加申込の方法」をご参照の上、期限までに参加料(資料代、宿泊料など)をお振込みください。プログラムには事前申込み不要のものもあります。お気軽に会場にお立ち寄りください。

参加申込先:第15回全国雑木林会議石見銀山大会実行委員会
事務局 NPO法人緑と水の連絡会議 担当 和田・高橋
〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ376-1
電話 0854-82-2727
FAX 0854-84-0262
メール ginmori@hotmail.co.jp